安全衛生大会
職場のリーダーが取り組むべきこと

（公社）神奈川県産業廃棄物協会

相談役　長谷川滋

何から取り組むべきか？

「敵を知り己を知らば百戦危うからず」（孫子）

1. 業界の特性を知ろう！
2. 労働安全衛生法を知ろう！
3. 知識を広げよう！
4. 自社の現状を認識し、優先事項を決める！

本日は質問形式で1～3を紹介します。
最後に（全産連）のツールを紹介します。

第一問:

産業廃棄物処理業の労働災害発生状況は全産業平均に比べて高い。

第一問：

解答欄（解答は、終了後、出口でお配りします。）

第2問：

産業廃棄物処理業における労働災害は、年々減少傾向にある。

第2問：

解答欄

第3問：

産業廃棄物処理業における労働災害を「事故の型」別にみると、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」が多い。

第3問：

解答欄

第4問：

産業廃棄物処理業における労働災害の被災者は、経験年数の長い労働者の割合が高い。

第4問:

解答欄

第5問：

神奈川県の産業廃棄物処理業の労働災害発生状況は他県に比べて少ない。

第5問:

解答欄

第6問：

労働安全衛生法に違反しても、産業廃棄物処理業の許可を取り消されることはない。

第6問:

解答欄

第7問:

産業廃棄物処理業であるA社は本社で60名、他地区にある工場で80名が常時働いているが、本社で毎月安全衛生委員会を開催しているので問題はない。

第7問:

解答欄

第8問:

産業廃棄物処理業であるB社は常時15名の労働者しか働いていないので、安全衛生を担当する者を置く必要はない。

第8問:

解答欄

第9問:

C社ではノウハウがないのでリスクアセスメントを実施していないが、これにより罰せられることはない。

第9問：

解答欄

第10問:

D社では最近リスクアセスメントを導入したので、今まで実施していたKYT（危険予知訓練）は必要がなくなり廃止した。

第10問:

解答欄

第11問：

監督署が産業廃棄物処理業の事業場を指導する際、フォークリフト・車両系建設機械・車両系荷役運搬機械関係の点検や資格（技能講習・特別教育）に関する指摘事項が多い。

第11問:

解答欄

第12問:

災害防止に最も効果があるのは、朝礼での工場長や責任者の安全指示や訓示である。

日常の安全衛生活動は、特に重要ではない。

第12問：

解答欄

第13問：

収集運搬車両のシートをはずす時、荷の上は高く危険であるので、安全帯を掛ける設備を導入した。

第13問：

解答欄

第14問：

処理施設の出入り口は一般車両や歩行者と接触する可能性があるので、注意標識やカーブミラーを設置した。

第14問:

解答欄

第15問：

装置の点検修理は頻度が少ないので、通常作業に比べて労働災害の発生は少ない。

第15問：

解答欄

（解答は、終了後、出口でお配りします。）

- 産業廃棄物処理業の特徴は理解できましたか？
- 労働安全衛生法の重要性が分りましたか？
- 個々の事例に対し、どのような対策が考えられるかを理解できたでしょうか？

- （全産連）では、厚生労働省のご指導もあり、多くの安全ツールを作成していますので、ご紹介します。
- ツールの活用により、効果的な対応が可能です。

- **産業廃棄物処理業ヒヤリハットデータベース**

  起因物、事故の型、場所を選択することでヒヤリハットの例を抽出できます。

- **安全衛生規程作成支援ツール**

  社名、従業員数、処理内容を選択することで簡単に安全衛生規程が作成できます。
  表示オプションにより、関連条文の表示もできます。

- **安全衛生チェックリスト**

  各事業場の安全衛生活動への取り組み状況を自己診断するためのツール

- **リスクアセスメントの実施支援システム**

  場面を選択することにより、リスクアセスメントの例を抽出することができます。
  リスクアセスメントに慣れるまで便利です。

- その他の関連サイトの紹介

「交通労働災害防止のためのガイドライン」
（厚生労働省のサイトへ）

「自動車使用者への点検整備の実施のお願いについて」
「自動車点検基準」及び「自動車の点検及び整備に関する手引き」
（国土交通省のサイトへ）

ご清聴ありがとうございました。

（解答は、終了後、出口でお配りします。）